

| | | | |
|-----------------|------------------------|----------|------|
| B エネルギー変換に関する技術 | 月 日 () | 教 p96-97 | No.3 |
| 発電方式 | | | |
| 目標 | さまざまな発電方式の特徴と課題を理解しよう。 | | |

2年 () 組 () 番 名前 ()

【さまざまな発電方式】

| | 特徴 | 課題 |
|----|---|---|
| 発電 | <ul style="list-style-type: none"> ()、()、() などの () 燃料を使用する。 () や () に近い場所に建設されることが多い。 | <ul style="list-style-type: none"> () などの () ガスを多量に排出する。 () 燃料は主に輸入され価格変動が大きい。 |
| 発電 | <ul style="list-style-type: none"> () などの水を利用する。 () に建設されることが多い。 () エネルギーである。 流量を調整して、発電量が調整できる。 | <ul style="list-style-type: none"> すでに利用できる水源は開発されているので、新たな水源の ()。 |
| 発電 | <ul style="list-style-type: none"> () などの () 燃料を使用することで、() の燃料から () のエネルギーを得ることができる。 () に建設されることが多い。 | <ul style="list-style-type: none"> () 燃料を使用するため安全性に関して () が必要である。 () 物質の長期管理が必要で費用が算出しにくく処分場が現在は未定である。 核燃料は輸入される。 |

<MEMO>

| | 特徴 | 課題 |
|----|--|--|
| 発電 | <ul style="list-style-type: none"> () を利用する。 風が比較的 () して吹く () に設置されることが多い。 () エネルギーである。 設置費用がほかより安く、自治体単位で設置できる。 | <ul style="list-style-type: none"> () に左右されやすく、また 1 基あたりの発電量がほか比べて少ない。 () などの問題がある。 電圧や周波数安定化の設備が必要。 |
| 発電 | <ul style="list-style-type: none"> () を利用する。 () などにも設置できる。 () は発電することができない。 () エネルギーである。 設置費用が最も安く、個人でも設置できる。 | <ul style="list-style-type: none"> () に左右されやすく、また 1 基あたりの発電量がほか比べて少ない。 () 年程度で取り替える必要がある。 多量に導入すると、電圧や周波数の安定化設備が必要。 |

【現在の日本】

- () 発電が約 () % と発電電力量の大半を占めている。
- 近年は () な電力を必要としている。



【どうしてだろう…】

どうして原発は危険なのに存在しているのだろう。今の自分の考えを書いてみよう。

| | |
|---|----|
|  | 理由 |
|---|----|